

整理番号
67

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	障がい福祉サービス事業（再掲）			担当課	社会福祉課
業務名	障がい者団体補助金交付事業			担当係	障がい福祉係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	4	障がい者支援		事業区分	直営
主な取組	1	生活支援の充実		—	—
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	3	1	2	障がい福祉諸費

目的と方針【PLAN】
障がいのあるなしにかかわらず、暮らしやすい福祉のまちづくりを進めるため、ともに生きる社会づくりと障がい者の日常生活・社会生活の総合的な支援に向けた各種施策を推進します。

事業概要【PLAN】
障がい者に対するサービス提供に係る事務的経費のほか、障がい者団体が主体的に実施する事業への一部助成を行います。

対象【PLAN】	①障がい者 ②障がい者団体	意図【PLAN】	障がい者にサービスを提供するための事務費、障がい者団体に運営費の一部を助成することにより、障がい者への支援及び障がい者団体が主体的に事業を実施する。
-----------------	------------------	-----------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
障がい福祉サービスを円滑に提供し、障がい者団体が実施主体となる事業を助成するため、予算の確保をするとともに、障がい者団体等の運営の維持を補佐します。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	52,003	26,683	15,091	5,975		
	事業費合計	千円	52,003	26,683	15,091	5,975		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
補助団体数	団体	実績値が目標値以上となること	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	2	2			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	障害者総合支援法に基づく、障がい福祉サービスを提供し、障がい者団体の活動を支援するためのものであるため、市民ニーズ（障がい者）、社会的需要は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	障害者総合支援法に基づく、障がい福祉サービスを提供し、障がい者団体の活動を支援するためのものであるため、市民満足度（障がい者）及び社会貢献度は高い。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	障がい者団体が主体的となって実施する事業については、国庫や県費助成がない補助金であるため、他の助成金等の活用を含め、補助額の検討が必要である。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	障がい者団体が主体的となって実施する事業については、国庫や県費助成がない補助金であるため、他の助成金等の活用を含め、補助額の検討が必要である。また、障がい者団体の維持についても検討が必要である。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
68

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	障がい福祉サービス事業（介護給付）			担当課	社会福祉課
業務名	-			担当係	障がい福祉係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	4	障がい者支援		事業区分	一部委託
主な取組	1	生活支援の充実		-	-
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	3	1	介護給付事業費	

目的と方針【PLAN】
障がいのあるなしにかかわらず、暮らしやすい福祉のまちづくりを進めるため、ともに生きる社会づくりと障がい者の日常生活・社会生活の総合的な支援に向けた各種施策を推進します。

事業概要【PLAN】
障害者総合支援法に基づく介護等サービスを給付し、障がい者支援を行います。

対象【PLAN】	①障がい者 ②障がい福祉事業所	意図【PLAN】	①適正な障がい福祉サービス（介護給付）を受給する。 ②障がい福祉サービス（介護給付）を提供し、サービスが必要な方に安定したサービスを提供する。
-----------------	--------------------	-----------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
障がい福祉サービス（介護給付）を受給するために必要な障がい福祉サービスの個別支援計画を適正に策定し、障がい福祉サービス（介護給付）を安定的に提供することができる事業所に対し支援を実施する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	284,289	304,272	332,396	341,156		
	都道府県支出金	千円	142,144	152,136	166,198	170,578		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	143,463	153,532	167,684	172,071		
	事業費合計	千円	569,896	609,940	666,278	683,805		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
支給決定者数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	414	305	290	275	260
			実績値	478	494			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	障害者総合支援法に規定されている事業であるため、市民（障がい者）ニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	法定事業のため、社会貢献度は高い。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	障がい福祉サービスの個別支援計画に基づき提供されるものであり、きめ細かな対応が必要とされるため、費用削減、時間削減及び規模縮小は困難である。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	受給者や1人あたりのサービス量の増加等があり、予算規模が大きくなっている。
--------	----	-------------------------	---------------------------------------

整理番号
69

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	障がい福祉サービス事業（訓練等給付）			担当課	社会福祉課
業務名	-			担当係	障がい福祉係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	4	障がい者支援		事業区分	一部委託
主な取組	1	生活支援の充実		-	-
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	3	1	2 介護給付事業費	

目的と方針【PLAN】
障がいのあるなしにかかわらず、暮らしやすい福祉のまちづくりを進めるため、ともに生きる社会づくりと障がい者の日常生活・社会生活の総合的な支援に向けた各種施策を推進します。

事業概要【PLAN】
障害者総合支援法に基づく訓練等サービスを給付し、障がい者支援を行います。

対象【PLAN】	①障がい者 ②障がい福祉事業所	意図【PLAN】	①適正な障がい福祉サービス（訓練等給付）を受給する。 ②障がい福祉サービス（訓練等給付）を提供し、サービスが必要な方に安定したサービスを提供する。
-----------------	--------------------	-----------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
障がい福祉サービス（訓練等給付）を受給するために必要な障がい福祉サービスの個別支援計画を適正に策定し、障がい福祉サービス（訓練等給付）を安定的に提供することができる事業所に対し支援を実施する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	274,393	313,456	353,206	377,718		
	都道府県支出金	千円	137,196	156,728	176,603	188,859		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	137,198	156,722	176,604	188,859		
	事業費合計	千円	548,787	626,906	706,413	755,436		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
支給決定者数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	379	366	358	350	340
			実績値	408	420			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	障害者総合支援法に規定されている事業であるため、市民（障がい者）ニーズ、社会的需要及び事業としての優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	法定事業のため、社会貢献度は高い。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	障がい福祉サービスの個別支援計画に基づき提供されるものであり、きめ細かな対応が必要とされるため、費用削減、時間削減及び規模縮小は困難である。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	受給者や1人あたりのサービス量の増加等があり、予算規模が大きくなっている。
--------	----	-------------------------	---------------------------------------

整理番号
70

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	障がい児通所支援事業				担当課	ネウボラ推進課		
業務名	-				担当係	子育て支援係		
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度		
施策項目	4	障がい者支援			事業区分	直営		
主な取組	1	生活支援の充実			-	-		
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	1	3	1	2	介護給付事業費			

目的と方針【PLAN】
障がいのあるなしにかかわらず、暮らしやすい福祉のまちづくりを進めるため、ともに生きる社会づくりと障がい者の日常生活・社会生活の総合的な支援に向けた各種施策を推進します。

事業概要【PLAN】
社会との交流促進や訓練をとおして障がい児を支援するため、通所給付を行います。

対象【PLAN】	身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む）のため通所による支援等を必要とする児童。	意図【PLAN】	障がい児が地域において障害児通所支援のサービス提供を受ける。
-----------------	---	-----------------	--------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
障害児通所給付費及び障害児相談支援給付費を支給する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	178,608	214,137	230,551	227,534		
	都道府県支出金	千円	89,304	107,068	115,275	113,767		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	3,213	0	0		
	一般財源	千円	84,730	102,852	139,454	118,686		
	事業費合計	千円	352,642	427,270	485,280	459,987		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
対象児の把握と適正な給付	%	実績値が目標値以上となること	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績値	100.0	100.0			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	通所給付については、法令等によって市が行うものと規定されている。受給者の数は増加しており、障がいのあるなしにかかわらず、暮らしやすい福祉のまちづくりを進めるため、優先度は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	社会貢献度は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	具体的かつ正確な根拠資料を作成の上、国・県へ遺漏なく交付金を申請し、財源確保を図った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	本事業は関連法令に基づき適正に執行されている。令和7年度以降も引き続き適正な支給を行う。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
71

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	地域生活支援事業（再掲）			担当課	社会福祉課
業務名	地域生活支援事業障がい福祉サービス給付業務			担当係	障がい福祉係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	4	障がい者支援		事業区分	一部委託
主な取組	1	生活支援の充実		—	—
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	3	1	地域生活支援事業費	

目的と方針【PLAN】	障がいのあるなしにかかわらず、暮らしやすい福祉のまちづくりを進めるため、ともに生きる社会づくりと障がい者の日常生活・社会生活の総合的な支援に向けた各種施策を推進します。		
事業概要【PLAN】	障害者総合支援法に基づき、障がい者が住みなれた地域で自立した生活を営むことができるよう、各種福祉サービスを提供し、障がい者支援を行います。		
対象【PLAN】	障がい者	意図【PLAN】	障害者総合支援法に基づき、障がい者が地域で自立した生活を営むことができるよう各種福祉サービスを提供することにより、障がい者支援を実施します。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	障がい者が適正なサービスを受給することができるよう近隣市町村の実例を確認し、サービス内容、金額等を適正なものとする。		

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	22,059	16,777	18,719	17,593		
	都道府県支出金	千円	11,029	8,388	8,875	8,796		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	42,517	53,481	50,970	60,303		
	事業費合計	千円	75,605	78,646	78,564	86,692		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
扶助費の給付	千円	実績値が目標値以上となること	目標値	54,000	53,000	52,000	51,000	50,000
			実績値	58,667	57,675			
			達成率	100.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	障がい者が地域生活を営むにあたり必要なサービス等を提供するものであるため、市民ニーズ（障がい者）、社会的需要及び事業の優先度については高いものである。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	障害者総合支援法に基づき、障がい者が地域で自立した生活を営むことができるよう各種福祉サービスを提供するものであるため事業効果、市民満足度（障がい者）及び障がい者に対する社会貢献度は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	個人ごとに定期的なサービス量を把握することにより、費用をおさえる工夫を実施している。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	国庫及び県費補助については、国1/2以内、県1/4以内となっており、国の予算状況により、満額の補助金が交付されない。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
72

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	障がい福祉サービス事業（再掲）			担当課	社会福祉課
業務名	精神障がい地域包括ケアシステム検討業務			担当係	障がい福祉係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	4	障がい者支援		事業区分	直営
主な取組	2	障がい者に対する理解の促進		—	—
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	3	1	障がい福祉諸費	

目的と方針【PLAN】
障がいのあるなしにかかわらず、暮らしやすい福祉のまちづくりを進めるため、ともに生きる社会づくりと障がい者の日常生活・社会生活の総合的な支援に向けた各種施策を推進します。

事業概要【PLAN】
精神障がい地域包括ケアシステム検討会を実施し、精神障がいに関する理解を深める取り組みや、研修等を実施し理解促進を図ります。

対象【PLAN】	精神障がい者	意図【PLAN】	精神障がい地域包括ケアシステム検討会を実施し、精神障がいに関する理解を深める取り組みや、研修等を実施し理解促進を図ります。
-----------------	--------	-----------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
市の関係部署や関係機関などが構成員となっている精神障がい地域包括ケアシステム検討会を年5回実施するとともに、研修等を実施します。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	52,003	26,683	15,091	5,975		
	事業費合計	千円	52,003	26,683	15,091	5,975		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
精神障がい地域包括ケアシステム検討会の実施	回	実績値が目標値以上となること	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	5	4			
			達成率	100.0%	80.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	総合支援法及び精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の趣旨に則った事業であるため、市民ニーズ（精神障がい者）、社会的需要は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	総合支援法及び精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の趣旨に則った事業であり、精神障害者保健福祉手帳の交付者が増加しているため、今後における社会貢献度は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	今後、対象者の増加等により費用や対応時間が拡大する可能性がある。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	今後、対象者の増加等により費用や対応時間が拡大する可能性がある。
--------	----	-------------------------	----------------------------------

整理番号
73

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	地域生活支援事業（再掲）				担当課	社会福祉課
業務名	手話普及啓発事業				担当係	障がい福祉係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち			計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	4	障がい者支援			事業区分	一部委託
主な取組	3	情報・コミュニケーションの支援			—	—
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	3	1	2	地域生活支援事業費	

目的と方針【PLAN】
障がいのあるなしにかかわらず、暮らしやすい福祉のまちづくりを進めるため、ともに生きる社会づくりと障がい者の日常生活・社会生活の総合的な支援に向けた各種施策を推進します。

事業概要【PLAN】
伊達市手話言語条例に基づき、手話の普及と理解促進を進めるため、出前講座の実施や手話奉仕員の登録及び養成研修等を行います。

対象【PLAN】	聴覚障がい者	意図【PLAN】	聴覚障がい者が地域で生活しやすくなるよう手話の普及と理解促進を進めます。
-----------------	--------	-----------------	--------------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
出前講座、手話奉仕員登録、手話まつり等を実施し、手話の普及と理解促進を実施する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	22,059	16,777	18,719	17,593		
	都道府県支出金	千円	11,029	8,388	8,875	8,796		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	42,517	53,481	50,970	60,303		
事業費合計		千円	75,605	78,646	78,564	86,692		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
手話方針養成講座の参加者数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	20	10	10	10	10
			実績値	14	11			
			達成率	70.0%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	伊達市手話言語条例に基づく事業であるため、市民ニーズ（聴覚障がい者）、社会的需要及び事務事業の優先度は高いものである。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	伊達市手話言語条例に基づく事業であるため、市民満足度（聴覚障がい者及びその関係者）及び社会貢献度は高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	地元到手話通訳者の資格を有する方が転居してきたため、福島県聴覚者協会への派遣数を減少することができたため、費用の抑制を実施している。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	継続して手話まつりを再開することができたため、関係者の活動が再開した。また、地元の手話通訳者の育成に苦慮している。
--------	----	-------------------------	---

整理番号
74

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	障がい者就労サポート事業			担当課	社会福祉課
業務名	-			担当係	障がい福祉係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	4	障がい者支援		事業区分	直営
主な取組	4	雇用・就労の促進		-	-
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	3	1	2	障がい者福祉事業費

目的と方針【PLAN】
障がいのあるなしにかかわらず、暮らしやすい福祉のまちづくりを進めるため、ともに生きる社会づくりと障がい者の日常生活・社会生活の総合的な支援に向けた各種施策を推進します。

事業概要【PLAN】
障がい者の事業所への通所等に要する経費の1/2助成を行います。

対象【PLAN】	事業所に通所する障がい者	意図【PLAN】	事業所に通所する障がい者に交通費の一部を助成することにより、支援者等の送迎が難しい障がい者の通所支援を実施し、事業所での障がい福祉サービスの受給をしたい障がい者が十分なサービスを主給することができるようにする。
-----------------	--------------	-----------------	---

意図の実現のために必要なこと【PLAN】
事業所に通所する障がい者の交通費の一部を助成する。

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	3,761	4,188	3,942	4,252		
	事業費合計	千円	3,761	4,188	3,942	4,252		

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
利用人数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	158	154	150	146	140
			実績値	138	167			
			達成率	87.3%	100.0%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	障がい者の通所をサポートするものであるため、市民ニーズ（障がい者）は高い。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	交通費の認定が、きめ細やかに実施されているため、市民満足度は高いものと期待できる。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	ガソリン単価が増加傾向にあるため、費用が増大している。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	改善	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	交通費の算定が、日毎に相違している受給者が多く、申請者、事業所及び市担当者の金額算出に要する時間が多いため、制度そのものの検討が必要である。
--------	----	-------------------------	--

整理番号
75

事務事業評価表
令和6年度実施事業

部長	課長	係長	担当者

事業名	障がい者就労支援専門員設置事業			担当課	社会福祉課
業務名	-			担当係	障がい福祉係
基本目標	2	健やかでやさしい健康・福祉のまち		計画期間	令和6年度～令和8年度
施策項目	4	障がい者支援		事業区分	全部委託
主な取組	4	雇用・就労の促進		-	-
予算科目	会計	款	項	大事業	
	1	3	1	2	障がい者福祉事業費

目的と方針【PLAN】	障がいのあるなしにかかわらず、暮らしやすい福祉のまちづくりを進めるため、ともに生きる社会づくりと障がい者の日常生活・社会生活の総合的な支援に向けた各種施策を推進します。		
事業概要【PLAN】	障がい者の就労は困難を極めており、障がい者の地域生活への移行に伴う一般就労による生活の自立を支援するため、就労支援専門員を設置し障がい者の就労支援を行います。		
対象【PLAN】	就労を希望する障がい者	意図【PLAN】	就労を希望する障がい者に対し、就労相談をはじめとした就労支援を実施することにより、障がい者の雇用の拡大を図る。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	障がい者就労支援専門員を設置し、地域での就労相談窓口を設置することにより、相談や支援を受けることが容易になり、障がい者の就労につながる。		

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	2,482	2,482	2,482			
	事業費合計	千円	2,482	2,482	2,482			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
相談件数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	454	490	526	562	600
			実績値	407	302			
			達成率	89.6%	61.6%			

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズについてどうか 社会的需要についてどうか 事務事業の優先度については高いものであるか 	従来と比較し、インターネットの発達などにより、障がい者であっても就労に関する情報が容易に取得できるようになっているため、市民ニーズや社会的需要は低くなっている。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか 市民満足度についてはどうか 社会貢献度についてはどうか 	障がい者就労支援専門員が企業面接の動向や就労後の面接等によるアフターケアを実施しているため、利用している市民（障がい者）の満足度は高く、企業と障がい者をつなげるという部分では社会貢献度も高い。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用を抑える工夫は行ったか 時間を削減する工夫は行ったか 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか 	従来と比較し、インターネットの発達などにより、直接の相談件数が減少しているため、今後費用の抑制は必要になると考えられる。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	従来と比較し、相談件数等が減少しているため、令和7年度から別事業に統合
--------	----	-------------------------	-------------------------------------